

事務事業評価表 平成25年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 都市型農業の推進
 基本事業 担い手の育成 確保

事業名 **次世代就農定着サポート事業**

[1002]

部名	経済部	事業開始年度	平成24年度	実施計画事業認定	非対象
課名	農業振興課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 就農予定者及び若手農業者
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 45歳未満農業者の増加
	(事務事業の内容、やり方、手段) 給付金支給、研修会 企画立案事業等助成
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	新規就農等研修受講者数	人			5	5
対象指標2	45歳未満農業者数	人			232	232
活動指標1	給付金支給等件数	件			2	20
活動指標2						
成果指標1	45歳未満農業者の割合	%			18.6	18.6
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	3,021	12,403
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,603	1,611
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	4,624	14,014

費用内訳	
24年度	旅費 1千円、需用費 9千円、役務費 11千円、負担金 補助及び交付金 3,000千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始
背景

事業を
取り巻く
環境変化

24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由
・
根拠は？

農業従事者の高齢化が急速に進む中、持続可能な農業を実現するためには、青年就農者を増加させるとともに定着させる必要がある。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

青年就農者を増加・定着させることは、担い手の育成・確保に大きく寄与する。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由
・
根拠は？

農業を生涯の仕事とする強い意欲のある新規就農者が出現している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

新規就農者を確保するためには有効な事業である。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由
・
根拠は？

青年就農給付金は国の補助制度によるものであり、コストを削減することは困難。